

立候補ご予定者さまお名前: ほぎわら 誠司

【質問票】

- (1) 【SDGs 全般】新市政において、国際目標である「SDGs(持続可能な開発目標)」の達成に向け、各施策におけるSDGsとの関係性を明確にした上で、目標達成に向けた具体的かつ積極的な取り組みをNPO等を含む民間とのパートナーシップですすめられますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細: CO2の削減は、代表例の一つです。また、男女協働推進の推進を民間とのパートナーシップによる推進にも取り組んでいます。

- (2) 【貧困】新型コロナウイルス感染症による社会経済活動への影響などにより生活困窮に苦しむ方が増えています。新市政において、NPOをはじめとする民間組織との協働により、こうした方々の孤立と困難を解消するためのアウトリーチや緊急避難、就労援助等の支援を積極的にすすめられますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細: 新型コロナウイルス以前の10年ほどは、市内の地域で高齢者の地域活動が、人口減少による機械化などにより減少があり、新たなアウトリーチが必要とされています。

- (3) 【コミュニティ支援】市内でも地域ごとに高齢化の進行状況や土地環境等が異なり、各地の特性に応じた地域づくりを住民主体で進める必要があります。そのため、総務省が推進する概ね小学校区を単位とした「地域運営組織」の設立・事業支援などを積極的に新市政ですすめられますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細: 総務省が進めようとしている組織の形態は、伝統的組織の役割の維持、再活性化、新たな組織の取組みなどを進めています。

- (4) 【災害】平成30年7月豪雨では様々なボランティアやNPO、企業等が支援活動を展開しました。その流れを受けて「災害支援ネットワークおかやま」も発足しています。同ネットワークとの協働連携をはじめ、新市政において民間との協働による災害支援の体制整備に取り組まれますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細: このネットワークの活動から十分に承知しております。ネットワークとの協働連携も考えていると存じます。

- (5) 【パートナーシップ】地域の様々な課題解決には民間との協働(パートナーシップ)が重要です。そのためには協働のルール作りや部署を超えた連携が重要です。条例、指針、ガイドラインなど協働の仕組みやその実行計画づくりに取り組まれますか？

はい ・ いいえ ・ その他

詳細: 基本的な情報の公開については積極的に提供しています。また、条例や指針など協働の仕組みやその実行計画づくりに取り組まれています。